

活動事例から

# 青年部・女性部

## 女性部員の心のようぶいんとして、シンボルマークを制定

島根県商工会女性部連合会

当県女性部連合会は、平成十四年度で組織化三十五周年を迎えました。これを機に、「生き生きと輝く女性経営者・経営者のパートナー」の実現に向けて、また「人や地域、地球にやさしい女性部」を目指し、より一層飛躍していきたくと考え、シンボルマークの制定を計画し、広く公募することとしました。

公募にあたっては、テーマを『輝らり』と定め、新聞紙上やホームページ、デザイナー関係者等の団体を通じて呼びかけました。その結果、十四年十一月から十五年二月までの四ヵ月間で、全国一八都府県から八九点の応募がありました。

採用作品の選考は、学識経験者、当女性連役員、事務局等で数回にわたり選考会議を開催しました。すべての応募作品に、作者の思いが伝わってくるすばらしい作品ばかりで、選考は困難

を極めましたが、絞り込んで、数点を選びました。

その後、十五年五月十日に隠岐島の西郷町において開催した当県女性連の通常総会の席で、各商工会女性部長がそれぞれ一票を持ち、その投票により一点を最終決定しました。採用は、グラフィックデザイナーの堀江豊さん（広島県廿日市市在住）の作品と決定しました。

このシンボルマークは、太陽や情熱を表す赤色で、商工会の「し」を組み合わせ、また女性（Woman）の「W」を表現しています。ともに手を取り合い、未来に飛躍する姿も示し、もてなしの「心」という文字がデザイン化されているものです。

十五年十一月二十二日に大田市の島根県男女共同参画センター「あすてらす」において開催した「しまね商工会女性部員の集い」において、部員それ

ぞれの心のよりどころとなるように、また、女性部員間の「絆」をより深めていけるようにという願いを込めて、このマークを各商工会女性部員に正式発表しました。

併せて、シールを作成し、県内約二六〇〇名の部員に配布しました。これをそれぞれの事務所や店舗等に掲示し、部員相互の連携意識の高揚・強化と商工会女性部組織の周知にもつなげていきたいと考えています。

また、今後はバッジや名刺などの各種印刷物、旗などにも有効に活用していく一方、全女性連、各都道府県女性連、各商工会女性部の共通マークとしても採用していただけるよう、女性部員の輪、ネットワークを全国に広げられるべく、ここ島根の地から発信していきたいと考えています。



シンボルマーク